

土 隆一先生をおくる

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2008-01-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 黒田, 直 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00000298



R. Tsuchi

土 隆一先生をおくる

土 隆一先生は、1992年3月末日で定年退官されることになりました。

先生は1951年文理学部助手に奉職され、その後、講師、助教授に昇任、1965年新設された理学部の助教授に配置換え、1970年に教授になられて今日に至っています。

静岡大学にいらっしゃって40年余り、先生は地質学と地殻進化学の教育と研究に大いに励み、多数の有為の学生を育て社会に出されました。この間、「静大だより」第107号(1992年1月発行)に書いていらっしゃるように、理学部、地球科学科及び大学院理学研究科修士課程の新設の仕事に大勢の人びとと共に携わり、今日の基礎を築かれました。学部では各種委員会の委員長、学内では防災委員会地震対策検討部会と同地震対策専門部会の委員長を務められました。また、諸学会の評議員、国際学会関係の委員長または委員、及び静岡県関係の諸審議会委員として社会的にも大いに活躍されました。

先生は最終講義『日本と南米の新第三紀イベント』で、登山に重きをおいた第1次コロンビア・アンデス学術調査の成果が、その後の日本と南米の地殻進化学的比較の研究につながった、と話されました。思い起こしてみると、私が赴任した時の当時(1967年)先生は隊員達と、いまでは懐かしい大岩の校舎を、たくさんの調査用の荷物の準備などで走りまわっていました。私自身1976年第3次調査に参加させていただき、以前から強い関心をもっていた熱帯高地の自然と文化に親しく接することができました。先生は小学生の頃、千葉県館山の海辺で、貝がもつ多彩な魅力にひかれて、後年、貝の化石の研究を始められた、と聞いています。今後も先生はこの初志を貫かれるものと思いますが、どうかお元気で過ごされるように祈り、退官の一つの記念としてこの号を出版することにいたします。

1992年3月20日

理学部地球科学教室

黒 田 直

つち りゅう いち 土 隆 一先生略歴

本 籍：東京都杉並区和泉2丁目275番地

現 住 所：静岡市東千代田2-26-28

生年月日：昭和4年1月23日

履 歴

A. 学歴および職歴

昭和23年(1948)3月 東京高等学校理科甲類卒業

昭和26年(1951)3月 東京大学理学部地質学科卒業

昭和26年(1951)4月 東京大学大学院入学

昭和26年(1951)10月 静岡大学文理学部助手

昭和36年(1961)7月 理学博士(東京大学)(論文名: On the late Neogene and Quaternary sediments and molluscs in the Tokai region, with notes on the late Cenozoic history of the Pacific coast of Southwest Japan)

昭和38年（1963）4月 静岡大学文理学部講師
 昭和38年（1963）10月 東京水産大学水産学部講師を併任（39年3月31日迄）
 昭和39年（1964）4月 静岡大学文理学部助教授
 昭和40年（1965）4月 静岡大学理学部助教授に配置換、文理学部を併任
 昭和45年（1970）4月 静岡大学理学部教授
 昭和48年（1973）9月 琉球大学教育学部に併任（9月1日—10月14日）
 昭和53年（1978）4月 京都大学理学部に併任（4月1日—10月15日）
 昭和54年（1979）4月 静岡大学大学院理学研究科担当
 平成3年（1991）4月 建設省建設大学校海外建設協力課程の講師を併任
 平成3年（1991）10月 第5回太平洋地域新第三系・IGCP246国際会議組織委員長
 平成4年（1992）3月 静岡大学理学部停年退官

B. 国際学術調査研究

- 1) 国際インド洋調査 海鷹丸乗船 1963-1964
- 2) 沖縄洪積世人類遺跡調査 1969, 1970-1971
- 3) 静岡大学アンデス学術調査（静岡大学コロンビア・アンデス学術調査・文部省海外学術調査・同国際学術研究による）（コロンビア、エクアドル、ペルー、チリ）1967, 1971-1972, 1976-1977, 1985, 1986, 1988, 1989, 1990
- 4) 日ソ間学者研究員等交換計画による訪ソ（モスクワ大学客員教授）1973
- 5) IGCPプロジェクト246 “太平洋地域新第三紀イベントの検討” 1986-1992
- 6) インド科学アカデミーによる研究者交流による訪インド（バラナス・ヒンズー大学・デリー大学・ワディアヒマラヤ地質研究所）1989

C. 学会活動

日本第四紀学会評議員：昭和50年—51年、58年—59年
 日本地質学会評議員：昭和53年—54年
 日本人類学会評議員：平成3年—現在
 日本古生物学会会員：昭和26年—現在
 日本貝類学会会員：昭和26年—現在
 日本地理学会会員：昭和26年—現在
 日本海洋学会会員：昭和39年—現在
 日本学術会議国際協力事業特別委員会委員：昭和60年9月—平成元年11月
 IGCPプロジェクト246リーダー（Pacific Neogene Events in Time and Space）：昭和61年—平成4年
 日本学術会議地質学研究連絡委員会委員：平成元年12月—同3年9月
 日本学術会議IGCP専門委員会委員：平成3年10月—現在
 日本ユネスコ国内委員会自然科学小委員会IHP調査委員：平成3年3月—現在
 国際地質学連合太平洋地域新第三紀層序委員会（RCPNS）委員長：平成3年10月—現在

D. 社会的活動

文部省教科用図書検定調査審議会委員：昭和51年11月—61年10月（59年11月から第4部会長）

静岡県温泉審議会委員：昭和53年7月—63年7月
 静岡県国土利用計画地方審議会委員：昭和53年12月—63年11月
 静岡県有度山総合整備計画検討委員会委員長：昭和62年—63年
 静岡県自然環境保全審議会委員：昭和60年9月—現在
 静岡県地下水審議会委員：昭和60年12月—現在
 静岡県文化財保護審議会委員：昭和53年1月—現在
 日本平観光拠点整備推進委員会委員長：平成2年—現在
 富士宮市自然環境保全審議会会長：平成2年—現在
 有度山地域振興計画策定調査委員会委員長：平成3年7月—現在
 小笠山総合整備構想検討委員会委員：平成3年12月—現在

E. 賞

静岡大学永年勤続者表彰（20年）：昭和46年10月
 知恩会斎藤賞受賞：平成2年5月
 静岡大学永年勤続者表彰（40年）：平成4年3月

業 績 目 録

[研究論文]

1953

1. Tsuchi, R. (1953), Marine molluscs from the Alluvium deposits near Shimizu City. *Rep. Lib. Ar. Fac., Shizuoka Univ. (Nat. Sci.)*, no. 4, 37-43.

1954

2. 土 隆一(1954), 清水市付近より産した沖積世貝化石について. 地学しずはた, no. 3, 1-5.
3. Tsuchi, R. (1954), Later Cenozoic mollusca from Udoyama, Shizuoka, Japan. *Rep. Lib. Ar. Fac., Shizuoka Univ. (Nat. Sci.)*, no. 5, 47-52.
4. Tsuchi, R. (1954), On the fossil-coenosis from the Nekoya Formation, Shizuoka, Japan. *Rep. Lib. Ar. Fac., Shizuoka Univ. (Nat. Sci.)*, no. 6, 27-35.

1955

5. Tsuchi, R. (1955), On the depositional condition of the Kusanagi Mud, the Pleistocene bed, Shizuoka, Japan. *Rep. Lib. Ar. Fac., Shizuoka Univ. (Nat. Sci.)*, no. 7, 62-68.
6. Tsuchi, R. (1955), The palaeo-ecological significance of the later Pliocene mulluscan fauna from the Kakegawa district, the Pacific coast of central Japan. *Rep. Lib. Ar. Fac., Shizuoka Univ. (Nat. Sci.)*, no. 8, 45-61.

1956

7. 土 隆一(1956), 貝類の生態と古地理. 地学しずはた, no. 9, 1-3.

8. 土 隆一(1956), 静岡県における貝類の生態的分布 (その一). 地学しずはた, no. 11, 1-5.
9. 土 隆一(1956), 静岡県折戸湾の貝類群集. 地学しずはた, no. 11, 19-23.
10. Tsuchi, R. (1956), The palaeo-ecological analysis of the molluscan remains dredged from Orido Bay in Shimizu Harbor, the Pacific coast of Japan. *Rep. Lib. Ar. Fac., Shizuoka Univ. (Nat Sci.)*, no. 9, 45-59.
11. Tsuchi, R. (1956), The ecological distribution of marine mollusca living in the coast of Shizuoka Prefecture, the Pacific side of central Japan -As a basis of palaeo-ecology-. *Rep. Lib. Ar. Fac., Shizuoka Univ. (Nat Sci.)*, no. 10, 15-24.

1957

12. Tsuchi, R. (1957), Molluscs and shell remains in the brackish lake "Hamana", the Pacific coast of central Japan. *Rep. Lib. Ar. Fac., Shizuoka Univ. (Nat Sci.)*, no. 2, 29-41.

1958

13. Tsuchi, R. (1958), A note on mollusca dredged from Suruga Bay, the Pacific side of central Japan. *Rep. Lib. Ar. Fac., Shizuoka Univ. (Nat Sci.)*, no. 2, 69-83.
14. 土 隆一(1958), 久能山礫層から *Palaeoloxodon namadicus naumanni* Makiyama の産出について. 地質学雑誌, 12, 311-312.
15. Tsuchi, R. (1958), Paleo-ecology of mollusca in the Pleistocene Furuya Mud, Shizuoka Prefecture. *Rep. Lib. Ar. Fac., Shizuoka Univ. (Nat Sci.)*, no. 2, 121-129.

1959

16. Tsuchi, R. (1959), Molluscs and shell remains from the coast of Chihama in the Sea of Enshu, the Pacific side of central Japan. *Rep. Lib. Ar. Fac., Shizuoka Univ. (Nat Sci.)*, no. 2, 143-155.
17. Tsuchi, R. (1959), Notes on the fossil elephant recently found in the Sahama Mud, Shizuoka Prefecture, Japan. 第四紀研究, 1, 164-173.
18. 土 隆一(1959), 日本平とその周辺の地形発達史. 地理学評論, 32, 642-652.
19. Tsuchi, R. (1959), Molluscs and shell-remains in Arari Bay and Heta Bay, the west coast of the Izu peninsula. *Rep. Lib. Ar. Fac., Shizuoka Univ. (Nat Sci.)*, no. 2, 217-228.

1960

20. 土 隆一(1960), 有度山の地質構造ならびに地史. 地質学雑誌, 66, 251-262.
21. 土 隆一(1960), 渥美半島周辺の第四系の地史学的問題. 第四紀研究, 1, 193-211.
22. 土 隆一(1960), 天龍川下流地方第四系の地史学的考察. 東北大学理科報告(地質学)特別号, 4, 583-589.
23. 土 隆一(1960), 清水平野と遺跡周辺の地形. 清水天王山遺跡, 清水市郷土研究会, 31-42.
24. 土 隆一(1960), 大井川下流地方第四系の地史学的考察. 地質学雑誌, 66, 639-653.
25. 土 隆一(1960), 東海地方の第四系生成史. 第四紀研究, 1, 279-281.
26. Tsuchi, R. (1960), Molluscs and shell-remains in the vicinity off the mouth of the Oi River in the Gulf of Suruga, central Japan. *Rep. Lib. Ar. Fac., Shizuoka Univ. (Nat Sci.)*, no.

3, 72-77.

27. 伊藤通玄・土 隆一(1960), 浜名湖北岸の第四系について. 静大教育研報(自然科学編), no. 11, 101-104.

1961

28. 土 隆一(1961), 東海地方の第四紀地史. 榎山次郎教授記念論文集, 榎山教授退官記念事業会, 京都大学, 31-44.
29. Tsuchi, R. (1961), On the late Neogene sediments and molluscs in the Tokai region, with notes on the geologic history of the Pacific coast of Southwest Japan. *Jap. J. Geol. Geog., Natl. Res. Council of Japan*, **32**, 437-456.
30. Tsuchi, R. (1961), On the Quaternary sediments and molluscs in the Tokai region, with notes on the late Cenozoic history of the Pacific coast of Southwest Japan. *Jap. J. Geol. Geog.*, **32**, 457-478.
31. 伊藤通玄・土 隆一(1961), 浜名湖北岸の第四系について—その2—. 静大教育研報(自然科学編), no. 12, 200-202.

1962

32. 土 隆一・太田陽子・田中真吾・伊藤通玄・北川光雄・白井哲之(1962), 三河高原周縁部の段丘の対比. 地質学雑誌, **68**, 664-665.

1963

33. Takai, F. and Tsuchi, R. (1963), *The Neogene. Geology of Japan*. Univ. Tokyo Press, 141-172.
34. Takai, F. and Tsuchi, R. (1963), *The Quaternary. Geology of Japan*. Univ. Tokyo Press, 173-196.
35. 太田陽子・土 隆一・貝塚爽平・加藤芳朗・桑原 徹・白井哲之・山田 純・伊藤通玄(1963), 三河高原西縁の段丘群. 地理学評論, **36**, 617-624.
36. 伊藤通玄・土 隆一(1963), 浜名湖西岸の第四系について. 静大教育研報(自然科学編), no. 14, 72-76.

1964

37. 土 隆一(1964), 安良里湾・戸田湾の貝類. *Venus, Jap. Journ. Malacology*, **22**, 370-376.
38. 土 隆一(1964), 日本平・有度山とその生いたち. 静岡県地学会, 1-21.

1965

39. 土 隆一(1965), 駿河湾”田子の浦”の貝類群. *Venus, Jap. Journ. Malacology*. **24**, 210-214.
40. Tsuchi, R. (1965), A note on mollusca from “Shirahama” Group near Matsuzaki, the west coast of the Izu Peninsula. *Repts. Fac. Sci., Shizuoka Univ.*, **1**, 47-51.
41. 土 隆一(1965), 牧ノ原台地とその生いたち. 静岡県地学会, 1-17.

1966

42. 土 隆一(1966), インド洋東部の海洋地質調査—海鷹丸による国際インド洋調査, 1963-1964. *Jour. Tokyo Univ. Fisheries* (Special Edition), **8**, 71-81.
43. Tsuchi, R. (1966), Molluscs and shell-remains from Tago-no-ura, Suruga Bay, Pacific coast of central Japan. *Repts. Fac. Sci. Shizuoka Univ.*, **1**, 101-106.
- 1967
44. 土 隆一(1967), 陸上の段丘と海底地形. 日仏海洋学会誌, **5**, 80-84.
45. Tsuchi, R. and Kagami, H. (1967), Discovery of nerineid gastropoda from Seamount CblcoeB (Erimo) at the junction of Japan and Kuril-Kamchatka Trenches. *Records of Oceanographic Works in Japan*, no. 9, 2-6.
46. 土 隆一・黒田啓介・松井由紀乃(1967), 小笠山礫層から *Metasequoia* の産出. 静大地学研報, no. 1, 1-2.
47. 伊藤通玄・土 隆一・岩橋 徹・鮫島輝彦(1967), 伊豆半島の第三系. 静大地学研報, no. 1, 5-9.
48. Tsuchi, R. (1967), Geologic survey of the eastern Indian Ocean by the Umitakamaru International Indian Ocean Expedition in the winter of 1963-1964. *Repts. Fac. Sci. Shizuoka Univ.*, **2**, 43-54.
- 1968
49. 土 隆一(1968), フォッサ・マグナ南部の第四紀地殻変動と新第三系の構造.”フォッサ・マグナ”日本地質学会年会総合討論会, 72-82.
50. 鮫島輝彦・土 隆一・岩橋 徹・伊藤通玄・黒田 直(1968), 伊豆半島の地質に関する諸問題.”フォッサ・マグナ”日本地質学会年会総合討論会, 87-92.
51. 奈須紀幸・土 隆一・本座栄一(1968), 駿河湾西域の海底地質構造.”フォッサ・マグナ”日本地質学会年会総合討論会, 191-195.
52. Tsuchi, R. (1968), General report on the 1st Scientific Expedition of Shizuoka University to the Colombian Andes, 1967. *Repts. Fac. Sci., Shizuoka Univ.*, **3**, 49-55.
53. 土 隆一(1968), 開析扇状地から知られる地殻変動—東海地方を例に—. 第四紀研究, **7**, 225-234.
- 1969
54. 土 隆一(1969), 掛川貝化石群の変遷—特に *Suchium suchiense* について—. 化石, **18**, 26-34.
55. 土 隆一・加藤芳朗・伊藤通玄・松本繁樹・北川光雄・橋本隆夫・高橋 豊・黒田啓介・茨木雅子・吉田静子・丹治妙子(1969), 東海地方の第四系. 日本の第四系, 地学団体研究会専報, **15**, 299-318.
56. Tsuchi, R. and Takahashi, M. (1969), Notes on butterflies from Sierra Nevada de Santa Marta and the vicinity, Colombia, South America - Entomological report from the 1st Scientific Expedition of Shizu-oka University to the Colombian Andes. *Repts. Fac. Sci., Shizuoka Univ.*, **4**, 107-112.
57. Tsuchi, R. (1969), Notes on topography of the Japan Trench and the adjacency. *Repts. Fac. Sci., Shizuoka Univ.*, **4**, 113-120.

1970

58. 土 隆一・茨木雅子(1970), 伊豆滑川に共存する *Amussiopecten* と *Lepidocyclina*. 静人地学研報, **2**, 97-103.
59. 土 隆一(1970), 静岡県の地震災害の地質学的問題. 静岡県地震対策基礎調査報告書, 静岡県, 1-49.
60. Tsuchi, R. (1970), Quaternary tectonic map of the Tokai region, the Pacific coast of central Japan. *Reports. Fac. Sci., Shizuoka Univ.*, **5**, 103-114.
61. 土 隆一(1970), 相良、掛川地方の地質. 静岡県地学会資料, no. 17, 1-15.
62. 土 隆一(1970), 東海地方の洪積世地殻変動・水準点からみた地盤変動・地震性地殻変動の関係. 第7回災害科学総合シンポジウム論文集, 25-26.

1971

63. 土 隆一(1971), 静岡・清水平野の地形・地質について. 竹原平一教授記念論文集, 竹原教授退官記念会, 名古屋大学, 183-189.
64. Tsuchi, R. (1971), Notes on topography of southern Okinawa Island. *Repts. Fac. Sci., Shizuoka Univ.*, **6**, 171-177.
65. 土 隆一(1971), えりも海山についての諸問題. うみ. 日仏海洋学会誌, **9**, 65-68.

1972

66. 土 隆一(1972), 第四紀地殻変動からみた大崩海岸の山崩れ災害. 土隆一(編): 静岡・大崩海岸の山崩れ災害に関する地質学的研究報告論文集, 61-65.
67. 土 隆一・高橋 豊(1972), 東海地方の沖積海岸平野とその形成過程. 地質学論集, no. 7, 27-37.
68. Tsuchi, R. and Ibaraki, M., (1972), Biometry of *Nephrolepidina* from the southern Izu Peninsula and some other localities in Japan. *Repts. Fac. Sci., Shizuoka Univ.*, **7**, 117-128.

1973

69. 土 隆一(1973), 環太平洋造山帯の起源についての地質学的調査—第二次静岡大学アンデス学術調査. 学術月報, **26**, 200-203.
70. 土 隆一(1973), 地質学的に見た沖縄の洞穴とその堆積物. 南島考古学, **13**, 5-12.
71. Tsuchi, R. and Kuroda, N. (1973), Erimo (Sysoev) Seamount and its relation to the tectonic history of the Pacific Ocean Basin. *The Western Pacific: Island Arcs, Marginal Seas, Geochemistry*. Univ. W. Australia Press, Perth, Australia, 57-64.
72. Tsuchi, R. and Ibaraki, M., (1973), Planktonic foraminifera from the Nekoya Formation, Shizuoka Prefecture, Japan. *Repts. Fac. Sci., Shizuoka Univ.*, **8**, 165-174.
73. Tsuchi, R. (1973), Quaternary undulatory movements on the Pacific coast of Southwest Japan and Fossa Magna. *IX-INQUA, Congress, Christchurch, N.Z., Abst.*, 380-383.

1974

74. 土 隆一(1974), 1974年伊豆半島沖地震の諸問題. 静岡地学, no. 27, 37-39.
75. 土 隆一・徳山 明・木官一邦・西田彰一(1974), フォッサマグナ地帯の地盤災害の特徴と問題点—主として資料解析による—. 自然災害資料解析, no. 1, 35-49.
76. Tsuchi, R. and Ibaraki, M., (1974), Planktonic foraminifera from the upper part of the Kakegawa Group and the Soga Group, Shizuoka Prefecture, Japan. *Repts. Fac. Sci., Shizuoka Univ.*, **9**, 115-130.

1975

77. 土 隆一(1975), 西南日本太平洋岸の第四紀地殻変動, 日本地質学会82年大会シンポジウム“フィリピン海域の地質学的諸問題”資料, 17-25.
78. 土 隆一(1975), 西南日本太平洋岸の第四紀地殻変動. 海洋科学, **7**(10), 49-54.
79. 土 隆一(1975), 沖縄本島の地質と山下町洞窟の形成. 人類学雑誌, **83**, 131-136.
80. 土 隆一・宇津徳治(1975), 1974年伊豆半島沖地震について—地震と災害の特徴. 静大地球科学研報, no. 1, 11-21.
81. 檀原 毅・土 隆一(1975), 南伊豆における地殻変動. 土 隆一(編):1974年伊豆半島沖地震災害調査研究報告, 103-106.
82. 土 隆一・黒 直・大塚謙一・木官一邦・岩橋 徹(1975), 1974年伊豆半島沖地震とその災害—地質学的調査報告書—. 静岡県消防防災課, 1-15.
83. 土 隆一(1975), 1974年7月集中豪雨による災害の地質学的考察. 第12回自然災害科学総合シンポジウム論文集, 161-162.
84. 飯田波事・土 隆一・青木治三・村松郁栄・鳥海 勲・古本宗充・正木和明(1975), 沿岸における地盤災害. 自然災害特別研究, 沿岸地帯の開発に伴う自然災害の予測の研究, 32-53.
85. Tsuchi, R. and Ibaraki, M. (1975), Planktonic Foraminifera from the upper part of the Neogene Shimajiri Group and the Chinen Sand, the Okinawa Island. *Repts. Fac. Sci., Shizuoka Univ.*, **10**, 129-143.

1976

86. Tsuchi, R. (1976), Neogene geology of the Kakegawa district. In Tsuchi, R.,(ed.): *I-CPNS Congress Excursion Guidebook No. 3, Kakegawa District*, 2-21.
87. 土 隆一(1976), 1976年7月11日大雨による伊豆半島南部の災害. 静大地球科学研報, no. 2, 51-56.
88. Tsuchi, R. and Ibaraki, M. (1976), Late Neogene succession of molluscan fauna on the Pacific coast of Southwest Japan. *Proc. I-RCPNS Congress*, 401-402.
89. Tsuchi, R. and Ibaraki, M. (1976), Planktonic foraminifera from the lower part of the Kakegawa Group, Shizuoka Prefecture, Japan. *Repts. Fac. Sci., Shizuoka Univ.*, **11**, 161-178.

1977

90. 土 隆一(1977), 海生の貝類と微古生物. 日本の第四紀研究. 日本第四紀学会編, 東京大学出版会, 217-225.

91. 土 隆一(1977), 1976年7月11日大雨による伊豆半島南部の災害. 土 隆一(編):1976年7月11日大雨による伊豆半島南部の災害調査研究報告書. 自然災害特別研究(1)102037, 1-6.
92. Ikebe, N. and Tsuchi, R. (1977), Additional remarks on the Neogene-Quaternary boundary in Japan. *Giornale di Geologia, Ann. Museo Geol. Bologna, Bologna*, (2) XLI, 275-284.
93. Tsuchi, R. and Ibaraki, M. (1977), Planktonic foraminifera from *Lepidocyclina* horizon at Namegawa in the southern Izu Peninsula, central Japan. *Repts. Fac. Sci., Shizuoka Univ.*, 12, 115-130.
94. Tsuchi, R. and Ibaraki, M. (1977), Faunal succession of mollusca and planktonic foraminifera near the N/Q boundary on the Pacific coast of Southwest Japan. *XINQUA Congress Birmingham 1977 Abst.*, 468.
- 1978
95. Tsuchi, R. (1978), Notes on Quaternary tectonic movements in the Andean region. *Repts. Andean Studies, Shizuoka Univ., Spec. Vol.*, 41-51.
96. 土 隆一(1978), 太平洋側と日本海側の新第三系の対比と編年に関する諸問題. 化石, 28, 1-6.
97. Tsuchi, R. and Ibaraki, M. (1978), Late Neogene succession of molluscan fauna on the Pacific coast of southwestern Japan, with reference to planktonic foraminiferal sequence. *The Veliger, Calif. Malacol. Soc. Inc.*, 21, 216-224.
98. Tsuchi, R. and Ibaraki M. (1978), Definition and faunal characteristics of late Neogene stages on the Pacific coast of southwestern Japan. *Proc. IGCP-114 2nd Working Group Meeting, Bandung, May 30-June 1, 1977 Bandung, Indonesia*, 53-62.
99. Tsuchi, R. and Ibaraki M. (1978), Notes on correlation of late Neogene sediments on the southern Japan with those on the northern Japan. *Abst. IGCP-114 3rd Working Group Meeting, Correlation of Tropical through high latitude marine Neogene deposits of the Pacific Basin, Stanford Univ, Stanford*, 62.
- 1979
100. Tsuchi, R. and Working Group on Neogene Biostratigraphy and Radiometric Dating of Japan (1979), Recent progress in bio- and chronostratigraphy of the Japanese Neogene (1979-report). *Abst. XIV Pacific Science Congress, USSR Khabarovsk, Aug., 1979*, 146-147.
101. 土 隆一(1979), 1944年東南海地震による静岡県浅羽地域の家屋被害と地質条件. 第16回自然災害科学シンポジウム, 563-564.
102. 土 隆一, IGCP-114 国内ワーキンググループ(1979), 日本の新第三系対比表(その1)(その2), 土 隆一(編):日本の新第三系の生層序・年代層序に関する基本資料. IGCP-114 国内ワーキンググループ, 143-155.
- 1980
103. 土 隆一(1980), 1930年北伊豆地震の地盤災害. 自然災害資料解析, no. 7, 8-14.
104. 土 隆一(1980), 1930年北伊豆地震による田方平野の家屋被害と地質条件. 第17回自然災害科学総合シンポジウム, 535-534.

105. Tsuchi, R. and Ibaraki, M. (1980), Planktonic foraminifera from mollusca-bearing horizons of the Neogene sequence on the west coast of Boso Peninsula, central Japan. *Repts. Fac. Sci., Shizuoka Univ.*, **14**, 89-101.
106. Tsuchi, R. and Ibaraki M. (1980), Correlation of Neogene sequences on the Pacific coast of southern Japan by means of planktonic foraminifera and mollusca. *Repts. Fac. Sci., Shizuoka Univ.*, **15**, 53-68.
- 1981
107. Tsuchi, R. and IGCP-114 National Working Group of Japan (1981), Bio-and chronostratigraphic correlation of Neogene sequences in the Japanese Islands. In Tsuchi, R., (ed.): *Neogene of Japan*, IGCP- 114 National Working Group of Japan, Shizuoka, 91-104.
108. Tsuchi, R., Takayanagi, Y. and Shibata, K. (1981), Neogene bio-events in the Japanese Islands. In Tsuchi, R. (ed.): *Neogene of Japan-Its biostratigraphy and chronology*, IGCP-114 National Working Group of Japan, Shizuoka, 1981, 15-32.
109. 土 隆一・IGCP-114 国内ワーキンググループ(1981), 日本の新第三系の対比と編年. 土 隆一編, 日本の新第三系の生層序・年代層序に関する基本資料, 続編. IGCP-114 国内ワーキンググループ, 静岡, 109-123.
110. 土 隆一(1981), 新第三紀における日本の海洋生物地理中新世を中心として一化石, 30, 1-5.
111. 土 隆一(1981), 軟弱地盤条件による木造家屋被害の予測. 村松郁栄編, 東海地方における大地震の災害予測に関する研究, 自然災害特別研究, 74-84.
112. Tsuchi, R. (1981), Neogene biostratigraphy. *Recent Progress of Natural Sciences in Japan*, no. 6, 139-146.
113. Tsuchi, R. and IGCP-114 National Working Group of Japan (1981), Recent progress in bio-and chronostratigraphy of Japanese Neogene (1981 -Report). *Proc. IGCP- 114. Int. Workshop on Pac. Neog. Strat.*, Osaka, 1981, 99-108.
- 1982
114. 松隈明彦・奥谷喬司・土 隆一(1982), 日本太平洋岸産クルミガイモドキ科(二枚貝:原鰓亜綱)の3種類. *Venus, Japanese Jour. Malacology*, **40**, 177-186.
115. Tsuchi, R. (1982), Geology of southern Okinawa Island, with reference to the formation of the Minatogawa fissure. *The Minatogawa Man*, Univ. Tokyo Press, 197-204.
116. 土 隆一・茨木雅子(1982), 北海道の新第三系の対比に関する知見. 棚井敏雅編, 北海道新第三系層序の諸問題, 63-66.
117. 土 隆一(1982), 海岸線の輪郭の形成—最近地質時代の地殻変動から—. *海岸*, **22**, 1-7.
- 1983
118. 土 隆一(1983), 我が国の新第三系の生層序・年代層序. 石油技術協会誌, **48**, 35-48.
119. 土 隆一(1983), 浮遊性微化石年代尺度による貝化石群の消長とそれに関する諸問題. 小高民夫(編): 総合研究: 日本産新生代貝類の起源と移動, 101-106.
120. 土 隆一(1983), 中南米の化石・現生貝類についての二・三の問題. *地学雑誌*, **92**, 30-32.

121. 土 隆一・村井 勇(1983), 伊豆半島における地震災害とその特徴. 自然災害科学, no. 2, 33-44.
122. Ikebe, N. and Tsuchi, R. (1983), Synopsis of Japanese Neogene Stages. *Palaeogeogr. Palaeoclimatol. Palaeoecol.*, **46**, 1-10.
123. Tsuchi, R. and IGCP-114 National Working Group of Japan (1983), Neogene chronostratigraphy and bio-events in the Japanese Islands. *Palaeogeogr. Palaeoclimatol. Palaeoecol.*, **46**, 37-51.
- 1984
124. Ibaraki, M., Tsuchi, R. and Idota, K. (1984), Early Miocene planktonic foraminifera from the Morozaki Group in Chita Peninsula, central Japan. *Repts. Fac. Sci., Shizuoka Univ.*, **18**, 161-171.
125. Tsuchi, R. and Shuto, T. (1984), Western Pacific bio-events and their relation to Neogene planktonic datem planes. In Ikebe, N. and Tsuchi, R., (eds.): *Pacific Neogene Datem Planes*, Univ. Tokyo Press, 75-82.
126. Tsuchi, R. (1984), Neogene biostratigraphy and chronology of Japan. In Ikebe, N. and Tsuchi, R. (eds.): *Pacific Neogene Datem Planes*, Univ. Tokyo Press, 223-234.
127. 土 隆一(1984), "南部フォッサマグナ・フィリピン海プレート"北縁のネオテクトニクス. 第四紀研究, **23**, 53-54.
128. 土 隆一(1984), 駿河湾周辺の新第三系・第四系の構造とネオテクトニクス. 第四紀研究, **23**, 155-164.
129. Aoki, H. and Tsuchi R. (1984), Geology of the Erimo Seamount. *Proc. of 27th Int. Geol. Cong., Moscow, 1984*, Geology of Ocean Basins, **6**, 181-190.
- 1985
130. 土 隆一・吉岡龍馬(1985), 三島周辺の湧水の水質・同位体分析, 土 隆一(編): 三島市小浜池保存調査に関する報告書. 三島市, 57-58.
131. 土 隆一(1985), 富士山三島溶岩の構造と地下水. 土 隆一(編), 三島市小浜池保存調査に関する報告書, 三島市, 81-98.
132. Tsuchi, R., Okamoto, K., Huang, T-C. and Ibaraki M. (1985), Geologic ages of an associated assemblage of the Kakegawa and Omma-Manganji faunas from the southwestern Sea of Japan. *Repts. Fac. Sci., Shizuoka Univ.*, **19**, 63-79.
133. 土 隆一(1985), 概論: 東海地震 (1) —メカニズム—. 月刊地球, **7**(3), 126-127.
134. 土 隆一(1985), "東海地震"と駿河湾周辺のネオテクトニクス. 月刊地球, **7**(3), 168-173.
135. 土 隆一(1985), 軟弱地盤の形成と地震災害. 月刊地球, **8**(2), 122-127.
136. 土 隆一(1985), 新第三紀の地史的イベントとその時間空間的分布. コロキウム: 新第三紀地史的イベント, 1-6.
- 1986
137. 土 隆一(1986), 新第三紀のイベントとその時間空間的ひろがり. 海洋科学, **18**(3), 132-135.
138. 土 隆一(1986), 東海地震 (3) —断層・軟弱地盤防災—. 月刊地球, **8**(2), 68-69.

139. 土 隆一(1986), 新第三紀年代層序学の最近の進歩. 地学雑誌, **95**(7), 76-83 .
140. Tsuchi, R. (1986), Late Cenozoic molluscan faunas and their development in southwestern Japan. *Palaeont. Soc. Japan, Spec. Papers.*, no. 29, 33-45 .
- 1987
141. 土 隆一(1987), 東海地震 (4) 過去の教訓と提言—山崩れを中心に. 月刊地球, **9**(2), 64-65 .
142. Tsuchi, R., Shuto, T. and Ibaraki, M. (1987), Geologic ages of the Ashiya Group, north Kyushu from a viewpoint of planktonic foraminifera. *Repts. Fac. Sci., Shizuoka Univ.*, **21**, 109-119 .
143. Tsuchi, R. (1987), Mid-Neogene migration of Tethyan tropical mollusca and larger foraminifera into northern Japan. *Proc. International Symposium on Shallow Tethys 2, Wagga Wagga, Australia*, 5-17 Sep., 1986, 455-459 .
144. Tsuchi, R. (1987), Neogene events in Japan and the Pacific. In Tsuchi, R., (ed.): *Pacific Neogene Event Studies*, IGCP- 246, Shizuoka, Japan, 102-103 .
145. Tsuchi, R. and Ibaraki, M. (1987), Notes on neotectonics of southern Boso Peninsula, central Japan, with reference to those of South Fossa Magna. *Repts. Fac. Sci., Shizuoka Univ.*, **22**, 61-70 .
- 1988
146. 土 隆一(1988), IGCP-246 とその主題. 土 隆一編, 新第三紀における生物の進化・変遷とそれに関するイベント, 日本古生物学会1987年年会シンポジウム, 静岡, 大阪自然史博物館特別出版物, 1-2 .
147. 土 隆一(1988), 東海地震 (5) —地震と火山・ライフライン防災. 月刊地球, **10**(1), 4-5 .
148. Tsuchi, R. (1988), Conference report: Pacific Neogene event-stratigraphy, Berkeley, 1987, Episodes. **11**, 55-56 .
149. Tsuchi, R. (1988), Neogene bio-chronostratigraphy and its bearing on the opening of the Sea of Japan. *J. Paleont. Soc. Korea*, **4**, 50-54 .
150. Tsuchi, R. and Ibaraki M. (1988), Notes on the Omma-Manganji molluscan fauna: its geologic age and paleoceanographic implications. Prof. T. Kotaka Commem. Vol., *Saito Ho-on Kai Special Publication*, 557-565 .
151. Tsuchi, R. and International Andean Studies Group (1988), Trans-Pacific correlation of Cenozoic geohistory. In Tsuchi, R., (ed.): *Repts. Andean Studies, Shizuoka University, Spec. Vol. 2*, 1-108 .
152. 土 隆一(1988), 富士山の地下水, UP, 東京大学出版会, 10(192), 1-5 .
153. Tsuchi, R. and Ibaraki, M. (1988), Biotic evolutionary acceleration during the latest Neogene. *Oji Int. Seminar for IGCP-246, Abst. Vol.*, 21-22 .
154. Tsuchi, R. (1988), Notes on some Pliocene molluscas from the coast of Shirahama, with remarks on the geology of Izu Peninsula. *Oji Int. Seminar for IGCP-246, Guidebook for excursion*, 26-31 .

155. 土 隆一(1989), 小浜池の地下構造と地下水, 土 隆一(編): 三島市小浜池湛水調査研究報告書. 三島市, 11-20
156. 千地万造・土 隆一, IGCP-246 国内ワーキンググループ(1989), 日本海形成に伴う古地理・古環境の復元. 千地万造・土 隆一編, 日本海の形成とそれに伴う新第三紀地史的事件, IGCP-246 京都・静岡, 57-70.
157. 土 隆一(1989), 太平洋地域における新第三紀イベントーIGCP-246 王子セミナー・静岡, 1988ー. 学術月報, **42**, 480-485.
158. Tsuchi, R. (1989), Neogene marine climatic events in Japan and the Pacific. Proc. IGCP-246 International Symposium on Pacific Neogene Continental and Marine Events, Nanjing Univ. Press, China, 1-6.
159. 土 隆一(1989), 東海地震(6)ー予知の現状と社会の対応. 月刊地球, **11**(3), 129-130.
160. Tsuchi, R. (1989), Neogene events in Japan and the Indo-Pacific. *Indian Journ. Geol.*, **61**, 203-223.
- 1990
161. 土 隆一(1990), 富士山ーその構造と特色ー. 土木施工, **31**, 20-31.
162. 土 隆一(1990), 平成元年の小浜池の水位, 小浜池の湛水実験(平成元年10月), 土 隆一(編): 三島市小浜池湛水調査研究報告書 [その2], 三島市, 5-23.
163. Tsuchi, R. and International Andean Studies Group (1990), Trans-Pacific correlation of Cenozoic events. In Tsuchi, R., (ed.): *Repts. Andean Studies, Shizuoka University, Spec. Vol. 3*, 1-77.
164. Tsuchi, R. (1990), Preface. In Tsuchi, R., (ed.): *Palaeogeography, Palaeoclimatology, Palaeoecology*, Elsevier Science Publishers B. V., Amsterdam, **77**, 179-180.
165. Tsuchi, R. (1990), Neogene events in Japan and the Pacific. In Tsuchi, R., (ed.): *Palaeogeography, Palaeoclimatology, Palaeoecology*, Elsevier Science Publishers B.V., Amsterdam, **77**, 355-365.
166. Tsuchi, R. (1990), Neogene events in Japan and Southeast Asia. The annual technical meeting 1989 and International geological correlation programme project 246, Program and abstracts, Chiang Mai University, Chiang Mai, p. 38.
167. Tsuchi, R. (1990), Accelerated evolutionary events in Japanese endemic mollusca during the latest Neogene. In Tsuchi, R. (ed.): *Pacific Neogene Events-Their timing, nature and interrelationship*, Univ. Tokyo Press, 85-97.
168. 土 隆一(1990), 地震と静岡県の軟弱地盤, 東海地震防災シンポジウム1990ー予稿集ー, 東海地震防災研究会, (7), 3-11.
- 1991
169. 土 隆一(1991), 太平洋の向こう側では新第三紀に何が起こったかー日本と南米太平洋側の新第三紀イベントの対比ー, 学術月報, **44**, 380-386.
170. 土 隆一(1991), 地震による地盤・山崩れ災害の防災, 東海地震防災シンポジウム1991ー予稿集ー, 東海地震防災研究会, 8, 51-57.

171. Tsuchi, R. (1991), *Guidebook for Mid-Congress Tour "Mt. Fuji and its environs"*. V-CPNS-IGCP 246 Congress, Shizuoka Japan, 1991, 14 p.
172. Tsuchi, R. (1991), Neogene events in Japan and Southeast Asia. *Proc. Ann. Tech. Meet. 1989 and IGCP-246*, Spec. Pub. No. 9, 1991, Dept. Geol. Sci., Chaing Mai Univ., Thailand, p. 169-177.
173. Tsuchi, R. (1991), Neogene events in Japan and on the Pacific coast of South America. *Rev. Geol. Chile, Spec. Vol.* (in press) .
174. Tsuchi, R. (1991), Pacific Neogene climatic optimum and accelerated biotic evolution in time and space, *Vth Int. Cong. Pacific Neogene Strat. and IGCP-246*, Abst. Vol., Shizuoka, Japan, Oct. 6-10, 1991, 117-118.

[著書・編書等]

1. 土 隆一(1966), 潮干狩と貝の採集. 千本松原と浮島原, ほか. 杉本順一(編): 東海の自然, 六月社刊, 196 p.
2. 高井冬二, 土 隆一(1967), 第四紀. 地史学(下巻), 朝倉書店, p. 573-610.
3. Tsuchi, R. (Editor) (1976), *I-CPNS Congress Tokyo 1976*, Excursion Guidebook No. 3 "Kakegawa District", 82 p.
4. 土 隆一, 北川光雄(1976), 静岡・清水地域の地質 [改訂版] 地質図および説明書, 静岡商工会議所, 289 p.
5. Tsuchi, R. (Editor) (1978), *Repts. Andean Studies, Shizuoka University, Spec. Vol.*, 51 p.
6. 土 隆一(編) (1979), 日本の新第三系の生層序及び年代層序に関する基本資料. IGCP-114 National Working Group of Japan, Shizuoka, Japan, 156 p.
7. 土 隆一編(1981), 同上. 続編, 126 p.
8. Tsuchi, R. (Editor) (1981), *Neogene of Japan-Its biostratigraphy and chronology*. IGCP- 114 National Working Group of Japan, Shizuoka, Japan, 140 p.
9. 土 隆一, 村井 勇 編(1982), 関東地区災害科学資料センター文献目録(その15) 伊豆半島の自然災害文献・資料目録, 関東地区災害科学資料センター, 54 p.
10. 土 隆一編(1983), 駿河湾周辺の第四紀 Event を訪ねて, 1983年日本第四紀学会大会巡検案内書, 静岡, 61 p.
11. Ikebe, N. and Tsuchi, R. (Editors) (1984), *Pacific Neogene Datum Planes-Contributions to biostratigraphy and chronology*. Univ. Tokyo Press, Tokyo, 288 p.
12. 土 隆一(1984), 蝶番の美, 進化の足跡. おもしろズームアップ, 静岡新聞社 刊, p. 70-73, p. 166-169.
13. 土 隆一 編著(1985), 静岡県の自然景観—その地形と地質. 第一法規出版, 名古屋, 266 p.
14. 土 隆一 編著(1985), 三島市小浜池保存調査に関する報告書, 三島市, 137 p.
15. 土 隆一 編著(1985-1989), 特集"東海地震" 〈1〉, 月刊地球, 7(3), 126-173; 〈2〉, 7(4), 126-233; 〈3〉, 8(2), 68-127; 〈4〉, 9(2), 64-119; 〈5〉, 10(1), 4-59; 〈6〉, 11(3), 129-177.
16. Tsuchi, R. (Editor) (1987), *Pacific Neogene Event Studies*, IGCP- 246 "Pacific Neogene Events in Time and Space", Shizuoka, 127 p.
17. 土 隆一(1987), 白糸の滝, 音止めの滝, 柿田川, 三島湧泉群. 日本の湖沼と溪谷 (7), ぎょうせい, 東京, p. 149-151, p. 152-155.

18. 土 隆一(1987), 野守の池, 鷓山の七曲がり, 竜門の滝. 日本の湖沼と溪谷(9), ぎょうせい, 東京, p. 54-57.
19. Tsuchi, R. (Editor) (1988), *Repts. Andean Studies, Shizuoka University, Spec. Vol. 2*, Shizuoka Univ., 108 p.
20. Tsuchi, R. (Editor) (1988), *Oji International Seminar for IGCP-246 "Pacific Neogene Events: Their timing, nature and interrelationship"*, Shizuoka, Japan, Oct. 1988, Abst. Vol., 52 p.
21. 土 隆一編(1989), 三島市小浜池湛水調査研究報告書, 三島市, 34 p.
22. 土 隆一編(1989), 静岡大学地震防災のしおり”大規模地震に対する教職員の心得”, 静岡大学, 25 p.
23. 土 隆一編(1990), 三島市小浜池湛水調査研究報告書 [その2], 三島市, 33 p.
24. Tsuchi, R. (Editor) (1990), *Repts. Andean Studies, Shizuoka University*, 77 p.
25. Tsuchi, R. (Editor) (1990), Pacific Neogene Event Stratigraphy and Paleooceanographic History, Special issue, *Paleogeogr. Paleoclimatol. Paleoecol.* 77, No. 3/4, 367 p.
26. 土 隆一編(1991), 日本におけるIGCPの活動, 1970—1990, 日本IGCP国内委員会, 112 p.
27. 土 隆一監修(1991), 静岡県地学のガイド, 静岡県の地質とのおいたち, コロナ社, 182 p.
28. Tsuchi, R. (Editor) (1990), Abstract Volume, Vth Int. Cong. Pacific Neogene Stratigraphy and IGCP-246, Shizuoka, Japan, Oct. 6-10, 1991, Org. Com. V-CPNS IGCP246, Shizuoka Univ., Shizuoka, 136p.

[地質図等]

1. 桐谷文雄・土 隆一・鮫島輝彦(1967), 静岡・清水地域の地質, 地質図および説明書一. 静岡商工会議所, 180 p.
2. 土 隆一(1967), 牧ノ原地域表層地質図, 1:25,000. 静岡県.
3. 土 隆一・門村 浩(1967), 大井川下流部平野およびその周辺地域の表層地質図, 1:25,000. 静岡県.
4. 土 隆一・松田磐余(1967), 地震災害の地学的基礎条件図 —静岡県中部地区—, 1:50,000. 静岡県.
5. 土 隆一・松本繁樹(1970), 静岡県地震防災基礎図. 静岡県.
6. 土 隆一・黒田 直(編)(1971), 静岡県表層地質図, 1:200,000, 経済企画庁
7. 土 隆一・松田磐余(1971), 地震被害の基礎条件としての地盤. 静岡県地震対策基礎調査報告書—静岡・清水地域, 静岡県, p. 35-51.
8. 土 隆一・黒田 直・池谷仙之(1971), 土地分類基本調査・表層地質図, 浜松1:50,000, および同説明書, p. 19-22, 静岡県.
9. 土 隆一(1972), 地震災害の基礎条件としての地盤. 静岡県地震対策基礎調査報告書—西部地域—, 静岡県, p. 33-35.
10. 土 隆一・黒田 直・池谷仙之(1972), 土地分類基本調査・表層地質図, 掛川・御前崎 1:50,000, および同説明書, 静岡県.
11. 土 隆一(1973), 地震災害の基礎条件としての地盤. 静岡県地震対策基礎調査報告書—東部地域—, 静岡県, p. 35-36.
12. 土 隆一・黒田 直(1973), 土地分類基本調査・表層地質図, 静岡・住吉 1:50,000, および同

説明書，静岡県。

13. 土 隆一・鮫島輝彦・岩橋 徹・加藤芳朗・徳山 明・伊藤通玄・黒田 直・藤吉 瞭・池谷仙之(1974), 静岡県地質図, 1:200,000. 静岡県.
14. 土 隆一・黒田 直・大塚謙一・岩橋 徹・徳山 明・藤吉 瞭・加藤芳朗・鮫島輝彦・伊藤通玄・池谷仙之(1974), 静岡県の地質. 静岡県, 154 p.
15. 土 隆一(1974), 地震災害の基礎条件としての地盤. 静岡県地震対策基礎調査報告書—伊豆地域—, 静岡県, p. 31-32.
16. 土 隆一・黒田 直(1974), 土地分類基本調査・表層地質図, 清水 1:50,000, および同説明書, 静岡県.
17. 土 隆一・田中邦雄(1974), 中部日本の新第三紀貝化石, 掛川地方の鮮新世貝化石, 日本化石集第29集, 築地書館, 東京.
18. 土 隆一・松田磐余・望月利男・岡井隆弘(1975), 静岡県の地震危険度図1:200,000, 静岡県地震対策基礎調査報告書—地域別地盤震度図—. 静岡県消防防災課, 53 p.
19. 土 隆一・北川光雄(1976), 静岡・清水地域の地質, 地質図および説明書, 静岡商工会議所, 289 p.
20. 土 隆一・黒田 直(1976), 土地分類基本調査・表層地質図, 吉原・駒越 1:50,000, および同説明書, 静岡県.
21. 土 隆一・黒田 直・茨木雅子(1977), 土地分類基本調査・表層地質図, 沼津 1:50,000, および同説明書, 静岡県.
22. 土 隆一・黒田 直・茨木雅子(1978), 土地分類基本調査・表層地質図, 御殿場 1:50,000, および同説明書, 静岡県.
23. 土 隆一・黒田 直・茨木雅子(1979), 土地分類基本調査・表層地質図, 富士宮 1:50,000, および同説明書, 静岡県.
24. 土 隆一・黒田 直・茨木雅子(1980), 土地分類基本調査・表層地質図, 修善寺 1:50,000, および同説明書, 静岡県.
25. 土 隆一・黒田 直・茨木雅子(1981), 土地分類基本調査・表層地質図, 家山 1:50,000, および同説明書, 静岡県.
26. 土 隆一・黒田 直・茨木雅子(1982), 土地分類基本調査・表層地質図, 下田・神子元島 1:50,000, および同説明書, 静岡県.
27. 土 隆一・黒田 直・茨木雅子(1983), 土地分類基本調査・表層地質図, 伊東・稲取 1:50,000, および同説明書, p. 44-46, 静岡県.
28. 土 隆一・黒田 直・茨木雅子(1985), 土地分類基本調査・表層地質図, 熱海・小田原 1:50,000, および同説明書, p. 46-47, 静岡県.
29. 土 隆一(編)(1986), 静岡県地質図, 1:200,000. 静岡県.
30. 土 隆一・黒田 直・茨木雅子(1986), 土地分類基本調査・表層地質図, 天竜 1:50,000, および同説明書, p. 45-47, 静岡県.
31. 土 隆一・黒田 直・茨木雅子(1987), 土地分類基本調査・表層地質図, 三河大野・豊橋・田口 1:50,000, および同説明書, p. 41-42, 静岡県.
32. 土 隆一・黒田 直・狩野謙一・茨木雅子(1988), 土地分類基本調査・表層地質図, 千頭 1:50,000, および同説明書, p. 42-43, 静岡県.
33. 土 隆一・北川光雄(1989), 静岡県地下水分布図, 1:200,000. 静岡県.

34. 土 隆一・狩野謙一・藤吉 瞭(1989), 土地分類基本調査・表層地質図, 佐久間 1:50,000, および同説明書, p. 48-49, 静岡県.
35. 土 隆一・黒田 直・茨木雅子(1990), 土地分類基本調査・表層地質図, 富士山・山中湖・秦野・小田原 1:50,000, および同説明書, p. 38-39, 静岡県.
36. 土 隆一・黒田 直・茨木雅子(1991), 土地分類基本調査・表層地質図, 南部 1:50,000, および同説明書, p. 47-48, 静岡県.
37. 土 隆一・狩野謙一(1992), 土地分類基本調査・表層地質図, 井川 1:50,000, および同説明書, p.48-49, 静岡県.